

山田みやこの活動報告

令和2年6月18日(木)

政務活動報告

新型コロナウイルス感染症の影響で政務活動も自粛していましたが、徐々に活動も再開され県内調査を会派で行った。

① 大田原市のラウンドアバウト(環状交差点)

交差点が環状(ドーナツ型)になっており信号機ではなく道路標識に従い、交差点を右回りに通行が指定されている。重大事故や渋滞が起きにくい交差点で全国ですでに8ヶ所設置。本県では初めての設置となった。設置場所は大田原市狭原地内。過去3年で9件の出会い頭事故(見通しが良いが道路幅が同程度のため優先関係が分かりにくく、一時停止の見落としによる重大事故)があり、信号機設置を希望していたが交差点を直角に改良し設置するとなると総事業費がラウンドアバウトの1.5倍になるため、ラウンドアバウトの設置を選択した。

総事業費 1億3,000万円 交差形状 6枝

導入の効果としては、速度低下と交錯ヶ所の減少、信号機の電力が不要(CO2削減)、信号による停止がない、停電時も通行可能、Uターンによる方向転換が容易である等。設置条件としては交通量が著しく多い所は適さない。

住民への説明や理解はコロナ禍のため実施できず、来年市政懇談会にて意見を広く聴集する予定という。今後、県の総合スポーツゾーンにも設置予定。

栃木県初の環状交差点

ラウンドアバウト

環状交差点



大田原市狭原地内



大田原市



周辺位置図

大田原市

道の駅 那須与一の郷

大田原市役所

ラウンドアバウト

大田原警察署 狭羽幹部派出所

大杉神社

湯津上小学校

温泉神社

事業概要

改良前の交差点は、見通しが良く、さらに道路幅が同程度のため、優先関係が分かりにくく、一時停止の見落としによる重大事故が多発しました。このため、交差点の形状や交通量等を考慮し、安全・安心かつ効率的で環境に優しい交差点としてラウンドアバウトを導入しました。

事業費	1億3千万円
事業期間	平成29年(2017年)～令和2年(2020)年
交差形状	6枝
外径	36.0m
環道幅員	5.0m
エプロン幅員	1.5m
中央島直径	21.0m

大田原市 建設水道部 道路課

〒324-8641 栃木県大田原市本町1丁目4番1号

お問合せ TEL.0287-23-8710 FAX.0287-22-8731 E-mail douro@city.ohtawara.tochigi.jp

令和元年10月作成